

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年3月25日
【事業年度】	第12期（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）
【会社名】	株式会社メンタルヘルステクノロジーズ
【英訳名】	Mental Health Technologies Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 刀襦 真之介
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂3-16-11 東海赤坂ビル4階
【電話番号】	03（6277）6595
【事務連絡者氏名】	取締役事業開発・M＆A室室長兼コーポレート本部担当 松浦 優
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂3-16-11 東海赤坂ビル4階
【電話番号】	03（6277）6595
【事務連絡者氏名】	取締役事業開発・M＆A室室長兼コーポレート本部担当 松浦 優
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年3月31日に提出いたしました第12期（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(税効果会計関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(税効果会計関係)

(訂正前)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
繰延税金資産		
未払事業税	1,303千円	13,848千円
未払金	6,597	5,946
貸倒引当金	10,758	2,119
返品引当金	1,166	-
返金負債	-	663
資産除去債務に係る減価償却費	496	981
繰延資産	8,647	4,756
関係会社株式取得関連費用	-	8,731
税務上の繰越欠損金(注)2	99,857	88,331
その他	-	413
繰延税金資産小計	128,829	125,791
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額(注)2	91,169	81,273
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	4,797	10,512
評価性引当額合計(注)1	95,966	91,786
繰延税金資産合計	32,862	34,005
繰延税金資産の純額	32,862	34,005

(注)1.繰延税金資産から控除された額(評価性引当額)に重要な変動が生じております。当該変動の内容は、主に回収可能性の検討の結果、繰延税金資産を計上したことによるものであります。

2.税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

前連結会計年度(2021年12月31日)

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠損金(注)1	-	-	1,540	-	27,873	70,442	99,857
評価性引当額	-	-	1,540	-	27,873	61,754	91,169
繰延税金資産	-	-	-	-	-	8,688	8,688 (注)2

(注)1.税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2.税務上の繰越欠損金99,857千円(法定実効税率を乗じた額)について、繰延税金資産8,688千円を計上しております。当該税務上の繰越欠損金については、将来の課税所得の見込みにより、回収可能と判断した部分については評価性引当額を認識しておりません。

当連結会計年度（2022年12月31日）

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠損金（注）1	-	-	-	-	22,240	66,091	88,331
評価性引当額	-	-	-	-	15,182	66,091	81,273
繰延税金資産	-	-	-	-	7,058	-	7,058 (注) 2

（注）1．税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2．税務上の繰越欠損金88,331千円（法定実効税率を乗じた額）について、繰延税金資産7,058千円を計上しております。当該税務上の繰越欠損金については、将来の課税所得の見込みにより、回収可能と判断した部分については評価性引当額を認識しておりません。

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
法人実効税率	30.6%	30.6%
（調整）		
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.4	0.4
住民税均等割	0.4	0.4
評価性引当額の増減	52.3	2.0
税額控除		2.8
連結子会社との税率差による影響	2.1	3.6
売掛金認容（社外流出）		2.5
ソフトウェア認容（社外流出）		1.0
その他	0.6	0.4
税効果会計適用後の法人税等の負担率	18.1	33.3

(訂正後)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
繰延税金資産		
未払事業税	1,303千円	13,848千円
未払金	6,597	5,946
貸倒引当金	10,758	2,119
返品引当金	1,166	-
返金負債	-	663
資産除去債務に係る減価償却費	496	981
繰延資産	8,647	4,756
関係会社株式取得関連費用	-	8,731
資産調整勘定	-	61,197
税務上の繰越欠損金(注)2	99,857	89,368
その他	-	413
繰延税金資産小計	128,829	188,025
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額(注)2	91,169	82,310
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	4,797	71,709
評価性引当額合計(注)1	95,966	154,020
繰延税金資産合計	32,862	34,005
繰延税金資産の純額	32,862	34,005

(注)1. 繰延税金資産から控除された額(評価性引当額)に重要な変動が生じております。当該変動の内容は、主として、連結子会社において将来減算一時差異に係る評価性引当額が増加したことに伴うものであります。

2. 税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

前連結会計年度(2021年12月31日)

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠損金(注)1	-	-	1,540	-	27,873	70,442	99,857
評価性引当額	-	-	1,540	-	27,873	61,754	91,169
繰延税金資産	-	-	-	-	-	8,688	8,688 (注)2

(注)1. 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2. 税務上の繰越欠損金99,857千円(法定実効税率を乗じた額)について、繰延税金資産8,688千円を計上しております。当該税務上の繰越欠損金については、将来の課税所得の見込みにより、回収可能と判断した部分については評価性引当額を認識しておりません。

当連結会計年度（2022年12月31日）

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)	合計 (千円)
税務上の繰越欠損金（注）1	-	-	-	-	22,240	67,128	89,368
評価性引当額	-	-	-	-	15,182	67,128	82,310
繰延税金資産	-	-	-	-	7,058	-	7,058 (注) 2

（注）1．税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

2．税務上の繰越欠損金89,368千円（法定実効税率を乗じた額）について、繰延税金資産7,058千円を計上しております。当該税務上の繰越欠損金については、将来の課税所得の見込みにより、回収可能と判断した部分については評価性引当額を認識しておりません。

2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
法定実効税率	30.6%	30.6%
（調整）		
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.4	0.4
住民税均等割	0.4	0.4
評価性引当額の増減	52.3	2.0
税額控除		2.8
連結子会社との税率差による影響	2.1	3.6
売掛金認容（社外流出）		2.5
ソフトウェア認容（社外流出）		1.0
その他	0.6	0.4
税効果会計適用後の法人税等の負担率	18.1	33.3